

まちづくり通信



最近駅前にも次々と新しいお店がオープンし、えびす屋などの新しい活動も始まっていて、駅前が盛り上がっている感じがしますね。これからも、準備組合のことや事業のことなど、何かありましたらお気軽に理事までご相談ください。

VOICE 2～まちの声～

瑞浪駅前を元気にしたい！まちの方のご意見を紹介します

今回は、Mビルのマネージャーをされていたグラフィックデザイナーの伊藤裕一さんです。

Mビルで出会った少女との体験、瑞浪駅前の未来への視点についてご寄稿いただきましたので、いつもより長い拡大版でお送りします。

その少女に出会ったのは、僕がMビルの管理をやらせてもらって丁度1ヶ月が経った頃だった。土曜日だったその日は一日中冷たい雨が降っていて、夕方になるとお客さんは1人もいなくなっていた。もう誰もこないだろうと携帯をいじっていると入口の扉の開く音がした。ふと目を向けると、小学4年生くらいの女の子が1人で入って来た。トコトコと僕がいる受付の前までやってきて「ここは誰が使ってもいいですか」と僕の目をしっかりと見て言った。「ここは誰が使ってもいい場所だよ。勉強をやってもいいし、友達とおしゃべりしてもいい。お菓子やお弁当も食べていいんだよ」そう答えると、ありがとうございましたと言って帰って行った。



そして3月の終わりになる頃、女の子が1人でMビルに姿を見せた。いつもと様子が違う。受付にいる僕のところに来てこう言った。「4月から関東の方に引っ越すことになったんです。今までありがとうございました」「え、そうなんだ。残念だね」何か言いたそうで言い出しにくそうにもじもじしている彼女の言葉を待つ。「私が大人、20歳になった時に、この場所ってまだありますか」僕は何と答えていいのかわからなかった。「ここはなくなっているかもしれないけど、同じような場所はできていると思うよ」「そうですか。ありがとうございました。必ずまた来ます」そう言って帰って行った。

4月になると女の子はMビルに来なくなった。僕は今でも、あの答えが合っていたのかわからない。あの時、10年後の瑞浪駅前がどうなっているか想像できなかったのだ。

僕はグラフィックデザイナーという仕事をしている。クライアントがイメージするものをカタチにする仕事だ。

僕が打ち合わせをする時は、ある程度こんな感じのモノを創って欲しいと依頼されることが多い。僕はクライアントがイメージするモノ以上のデザインを心がけて提案している。そうすることでクライアントのイメージがさらに広がっていく。僕は多くの時間を費やし、色々な創造をしてモノをデザインする。それを見たクライアントは今までイメージしていたモノの想像がふくらむ。大事なことは人にイメージさせること。イメージできたモノは必ず実現できるからだ。例えばロゴマークを創りお店をオープンさせる。新しいブランドを創って商品化し販売するなど。想像できれば実現していくのだ。

10年後の瑞浪駅前を想像できる人は何人いるだろう。その前に創造する人は誰なんだろう。イメージできる日は来るのだろうか。引っ越して行った女の子は、成人式に瑞浪の友達に会いに来るかもしれない。その時に瑞浪市はどうなっているだろう。駅前はどうなっているだろう。もし10年後大人になった女の子に会えたら、僕は未来の瑞浪市のイメージを伝えることができるようになっていたい。



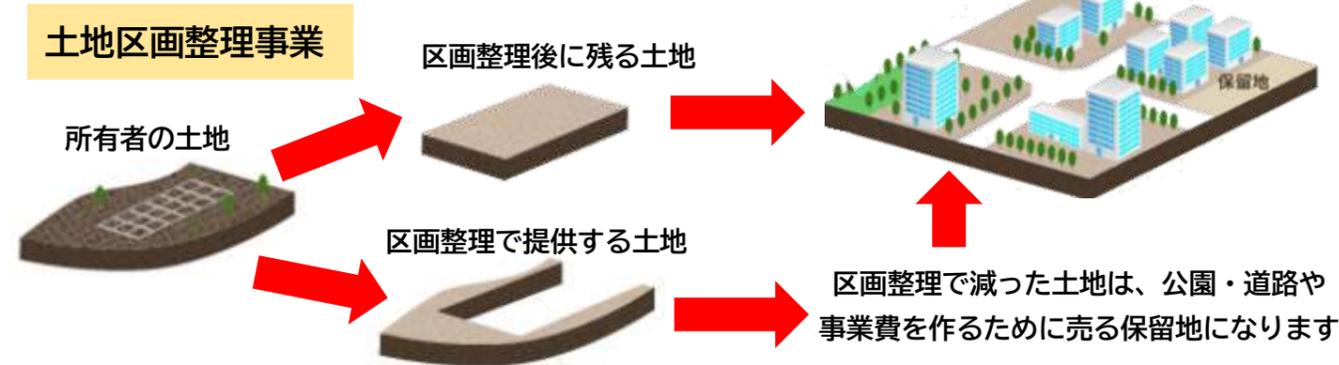
※写真はイメージです

伊藤さんのお話にあつたとおり、
どんなまちを創り、未来に残すのか
皆さん一緒に考えていきましょう！

まちづくり講座 皆様の疑問を解決します！

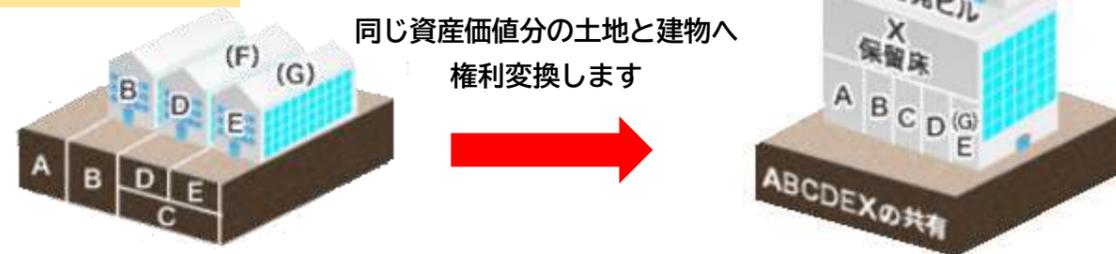
Q 土地区画整理事業と市街地再開発事業の違いは？

A 市街地再開発事業は「立体的な開発」、土地区画整理事業は「平面的な開発」と言えます。



- 益見地区でやったような「土地区画整理事業」は、未整備の土地を整備し、公共施設（道路、公園、広場、緑地、下水道等）を整備したり、宅地を整備して宅地化を進める事業です。
- 区画整理地区内に土地を持っている人は、保留地や新しい街路等をつくるために、土地の面積が減ります。その代わりに、きれいに区画されて使いやすい価値の上った土地が出来ます。

市街地再開発事業



- 一方、市街地再開発事業は、事業者（再開発組合）が街路や駅前広場の面整備をしながら、地権者の皆さんのお住まいやお使いになる再開発ビルを建築します。
- 再開発地区内の権利者の方は、元々持っていた土地建物等と同じ評価分の再開発ビルの土地の共有持分と床の権利を取得します。そのため、資産価値は従前と同じです。これを権利変換と言います。

準備組合の活動

岐阜県内・愛知県内の、参考になりそうな街並みの視察を6月～7月で計画しています。

すてきな街並みを見て、体験して、まちづくりの参考にしていきたいと思えます。

詳細が決まりましたら、お知らせします。新型コロナウイルスの感染状況を見ながらにはなりますが、皆さんぜひご参加ください。

